

江戸川区立小岩第二中学校  
第2学年 学年だより

第10号 令和8年6月8日

# かがやき

## 作文「運動会を終えて」

先日はご多用のところ、運動会にご参列いただき、ありがとうございました。生徒の一生懸命な姿はいかがでしたか。5月27日(水)5時間目に、運動会を振り返る作文を書きました。各クラス1人ずつ紹介します。3、4、5組については次号以降に掲載させていただきます。

「ハチマキに込めた、みんなの決意」

2年1組 N.M.

「絶対に優勝する。」、こんな思いを胸に、私たちは運動会を迎えました。私は今年、体育委員として運動会に参加しました。そのため、ここまでの道のりは、たくさんの緊張や不安がありました。どれも熱い気持ちで仲間とともに努力を重ねてきました。最後につかみ取った総合優勝、クラスみんなと本気でぶつかってきた私にとって、それはこれまでの苦勞がすべて報われた最高の瞬間でした。

体育委員の仕事は、競技を頑張るだけではありません。朝早くから準備したり、みんなを素早く整列させたり、クラスを支える役割があります。始めは、みんなのやる気がバラバラで思うように指示が通らないことも多くあり、私は自分の力不足を感じ、上手くいかず悩む日々が続きました。さらに、周囲の言葉に折れかけたこともありました。それでも、誰一人として諦めようと思わず、私が声を上げた後は、みんなもその思いに応えるように声を出し始め、クラスの空気が大きく変わり、協力することが楽しいものになっていきました。また、上手くいかず苦しい時も本気で向き合い続けた時間が、少しずつクラスの絆を深め、今までにない団結力が生まれたと思います。本番前、みんなで組んだ円陣では、これまであった出来事が一気によみがえりました。それらすべてを乗り越えて、こうして同じ場所に立っているのだと感じました。円陣の中で響く仲間の声や、みんなの目には一人ひとりの強い覚悟が見え、全員が同じ目標に向かって進む「1つのチーム」になったと思います。

ハチマキを強く結び、仲間とともに見た優勝の景色は、今でも心に焼き付いています。5組と同率優勝という結果には、うれしさと少しの悔しさ、どちらの気持ちもあります。それでも、あの日流した汗や涙は、私にとって一生忘れることのできない特別な宝物です。

「思い出に残ったイベント」

2年2組 A.N.

運動会、個人種目である100メートル走も皆でやる全員リレー、ローハイドも練習よりすごく上手くいったので良かったです。

特に全員リレーの練習では最下位を何回もとっていて、最後の最後まで体育委員さんたちが順番をかえてくれて本番までこの順番でどうなるかと思っていました。本番では一人一人当日までに決めていたルールをしっかりと守って一位を目指すことができ、すごくうれしかったです。結果は二位だったけれど、過去最高に良いバトンつなぎができ、みんな一生懸命走っていたので良かったなと思いました。

学年種目であるローハイドでは、運動会前の放課後で一人一人に合った練習をして、どうしたら良くなるか練習後に意見を出し合って、改善できるようにして自分も一位になりたいなと思いながら練習するようになりました。ローハイドの缶をクラスメイトが作ってくれ本番までにクラスが一致団結できたと感じました。本番当日、最初の方ですこしハプニングがあってやっている途中で最下位になるということが分かって、みんな頑張ってはげましながらゴールできてこのクラスでよかったなと思えました。

色々な気持ちでいっぱいだった運動会だったけれど、クラスの団結力があがったし、仲間思いで一人一人の競技を全力で応援していてすごく良い思い出になりました。一位にはなれなかったけれどまた合唱コンとか球技大会で一位になれるようにもっと仲を深めたいです。

## エヴァ・マカイ・ミドルスクール生徒との交流

